

久しぶりの緊張と喜び

あさげ新聞

地域共生推進室 発行
【11号】
2021年9月1日発行
ご意見・質問は下記の
メールまでどんどんお
寄せ下さい。採用され
た方には旬の野菜を
プレゼント！
mail ;
ta-hara@koaglobal.com

向山会長 ご視察

8月4日KOA株式会社向山会長にあさげの里へお越し頂きました。あさげの里メンバーは会長にお会いするのは久しぶりで、お迎えする緊張とお会い出来る喜びで当日を迎えました。視察場所は、トウモロコシ畑、あさげ工房（藁細工）、あさげの里（農場）の順でご視察頂きました。

最初のトウモロコシ畑では、熊谷さんから収穫方法について説明し実際に収穫をして頂きました。その後道の駅『蔵』の金田社長が挨拶に見え、店内を案内して頂きました。蔵の品揃えの多さに感心されておりました。



藁細工工程の説明



収穫方法の説明



ガルデンから稲の作付け状況を説明

あさげの里では、新野が一歩できるガルデンからの稲の作付け状況を原さんが説明しました。作付け面積が前年比十倍に拡大していることや、高齢化が進み農作業が困難になった地域の方より、農地の提供が多数ある事を説明しました。また、コシヒカリと白毛餅をご覧頂き、背丈や穂の違いをご理解頂きました。センブリ畑では伊藤（雅）さんがセンブリの病害発生等栽培の難しさを説明しました。会長からは地域によって気候や土壌が異なるので、上手に栽培出来るには時間がかかると助言を頂きました。



せんぶり状況の説明

最後にコテージで朝取りしたとうもろこしの試食をして頂きました。昔のとうもろこしと比べてとても美味いとおっしゃって頂きました。また、赤石銘茶と猿倉の泉の水で入れた冷茶や、村澤（由）さん自家製のお漬物を召し上がった頂きながらご歓談ご休憩いただきました。



コテージで休憩

1. 稲作事業

- ・【白毛餅／コシヒカリ栽培】
- ・カメムシ防除剤散布
- ・土手草刈り

2. 薬草事業

- ・【センブリ栽培】
- ・葉枯れ部の土壤除去
- ・スギナ的大量発生

3. 園芸事業

- ・【ほおずき栽培】
- ・JA南信州へ出荷

【とうもろこし栽培】

- ・道の駅『蔵』様向けとうもろこしの収穫、出荷
- ・おせんしょ市場へゴールドラッシュ提供
- ・台風転倒予防対策

【野菜栽培】

- ・キュウリ、ナス、トマト
- ・ミニトマト、ピーマン
- ・ゴーヤ、パプリカ、オクラ
- ・キャベツ、大根の収穫、提供
- ・白菜、レタス、キュウリの種まき
- ・休耕圃場の再生

4. 藁細工事業

- ・福縄大口受注生産

稲作事業

〈コシヒカリ栽培〉

収穫が近づいたコシヒカリの穂にカメムシと思われる吸汁が発見されました。三等米となり引き取り価格が下がってしまう為、急ぎカメムシ防除剤を散布しました。



更に、病虫害防止のため、田んぼの畔の草刈りを行いました。秋雨前線も過ぎ去り炎天下での作業となり、こまめな水分補給を行いながら進めました。



薬草事業

〈センブリ栽培〉

6月末からの長雨によりセンブリの葉枯れが止まりません。葉枯れ箇所の土壌を取り除いていますが、4畝中1畝分のセンブリが消滅してしまいました。コロナ同様に特効薬も無くこれ以上感染が拡大しないよう祈るばかりです。



また今年は昨年秋の除草対策で草が少なかったのですが、春スギナの胞子が遮光ネットの隙間より侵入したらしく、ここにかけて大量に成長しています。対策として苦土石灰を散布して見ましたが、効果が現れませんでした。現在は草の根元から引き抜いています。



園芸事業

〈ほおずき栽培〉

ほおづきの出荷に向けて枝の半分くらいまで葉を取り実をあらわにして切り取りました。その後日陰にて水に浸し保管しました。



出荷の前日に全長、実の数、外観と選別作業を行い、秀・優・良の等級に分け水に浸し保管しました。



出荷の当日、5時半より梱包作業をしました。葉っぱが大きく規定数量を箱詰めするのに時間がかかり、新野出荷時間7時に間に合わず下条集会所まで持ち込みました。



〈とうもろこし栽培〉

蔵向けとうもろこしの出荷が7月26日にスタートし、盆休みも返上しながら8月21日を最後に全て終了しました。出荷回数12回出荷本数7210本歩留まり60%の結果でした。歩留まり悪化の要因は、規格外品が多く5月の苗の冠水と日照不足が考えられます。また、今年は種の入手が遅れ、出荷時期が旬からズレた感があります。来年はこの経験を活かし、とうもろこし栽培の歩留まり90%を目指します。



収穫初体験のジュライさんダリーさん

〈野菜栽培〉

夏も終わりに近づき夏野菜の収穫量も日毎に少なくなります。



秋野菜のおせんしょ市場提供に向けて、しろ白菜188ポット、きい白菜60ポット、レタス200ポット、秋どりキュウリ59ポットの種まきをしました。秋野菜も提供しますのでご期待ください。



〈休耕圃場の再生〉

もと新野社員の方から畑を使わせて頂きたいと、依頼が有り整備をしました。今年とうもろこしを栽培する予定でマルチをかけただけで定植せず放置してあった為、マルチの穴から草が生えておりマルチを撤去するのに苦慮しました。

